

○本庁と総合支所の連携  
どう進める  
○防災行政どう取り組む



さとし 敏  
えんどう 遠藤 議員

**質問** 支所が独自性を出せるよう裁量権と自由度の高い予算を配分し、支所どうしが地域づくりを競い合えるようにすべきでないか。

**市長** 支所への権限や財源の配分は毎年度見直しをしていきたい。職員と市長とのコミュニケーションの機会がないので、十月から最初の支所幹部職員とディスカッションの場を設け、組織の力が発揮できるようにしたい。

**質問** 人事交流をどう進め、給与の平準化にどう取り組むか。

**市長** 支所どうしの人事交流はやっていない。しかし新市の一体感を増すには、職員の希望を聞きながら段階的に進めたい。

給与については、現在職員組合との協議が終局段階まで進み、十月からの具体的な実施まで進んでいる。合併後の人件費が高騰を招かないように、高い人は足踏み、低い人は段階的に追いつく仕組みの中で進めてゆく。

**質問** 地域防災計画の作成どう進める。また、飲用水兼用防火水槽の設置、耐震改修の補助制度創

設についてはどう考えているか。

**市長** 事務レベルで素案を作成中だが、防災会議で検討後、県協議をへて十八年度中の計画策定となる。また、飲用水兼用防火水槽は現在水沢公園地内一か所である。積極的設置を図りたいが、一般防火水槽の設置を優先したい。

市は耐震診断事業を継続し、本年度県が策定する耐震改修促進計画を受け効果的事業を実施する。

林業振興について  
市職員の給与水準について



しゅうこう 修孝  
さとう 佐藤 議員

**質問** 切り捨てられている間伐材を集材、チップ化し、林業をエネルギー源として位置づけできませんか。また、自木を使用して家を建てる事に市として何らかの補助ができませんか。

**市長** 木質バイオマスエネルギーは環境面からも理にかなったエネルギーと捉えられている。衣川の木質チップによる発電や、給湯設備の開発を更に進めたい。また、市内での木材の地産地消については、総合計画の中で検討していく。



木質バイオマス発電装置（衣川区）

**質問** 市の職員給与と民間事業所の従事者の給与と乖離していると思われるが、市の財政状況が困窮している事に鑑み、給与の見直しが必要ではないでしょうか。

**市長** 市職員の給与が民間事業所の従事者の給与と乖離しているという実感は確かにあります。市職員の給与は、従業員五十人から百人規模の民間事業所の従事者の給与と比較して算出された、人事院勧告に基づいて決めている。また旧市町村毎に給与に格差があり、早期に是正しなければならぬ。同時に職員組合との合意が不可欠であります。

**質問** 市長の大きな決断と、伴なう職員組合の共通理解、共通認識が必要です。職員自自行革に取

り組む事が品格とプライドを備えた職員体質の形成に繋がります。市長の意気込みと熱意、そして、凛とした政治姿勢をお伺いします。

**市長** 職員の意識改革を含め、市民の合意が得られるよう進める。

健全財政運営と保健医療  
福祉について



お 静  
あんばい 安倍 議員

**質問** 行財政基盤の強化と効率化の観点から、適正な職員の配置と時期、給料の格差是正、市税、国民健康保険税の滞納額と収納状況と今後の対応策について伺います。

**市長** 奥州市の職員数は普通会計ベースで八七四人と合併協議で確認されております。現在の職員数と比較して一九〇人程減ることになります。給料の格差是正は昇格基準等について職員組合と十月から具体的な協議の実施等に入れるよう努力しています。市税、国民健康保険税の滞納額は十六億八千三百万円となっています。納税に対する公平性確保のためにも徴収体制を強化し奥州市市税徴収方針に基づき周知の徹底や納付指導の強化により期別毎の納期内納付率の向上に努力してまいります。